

25年度版・緑の環境調査

身近な生きものの生息分布調査報告書



1. 調査の目的

この調査は、市民の皆さんの協力を^え得て、私たちの身近で見かける生きものの^{せいそく}生息状況^{じょうききょう}を調べることにより、身近な^{かんきょう}環境への理解を深めていただくとともに、人と自然とが共生できるような^{かんきょう}環境保全の意識向上^{いしき}を図ることを目的に実施しました。

2. 調査の方法

調査した期間は平成25年7月から9月で、資料として調査てびきを配り、ハガキ等により「いつ、どこで、なにを^{かくにん}確認したか」を報告^{ほうこく}していただきました。その結果をまとめ、^{せんもん}専門の先生方に^{こうさつ}考察をいただきました。

○調査種は身近にいる5種類の動植物たち



ミンミンゼミ

発生する時期は、7月の終わり頃^{ころ}から9月中旬頃^{じゅうぶ}までと夏の暑い季節に活動します。セミの仲間の中でも大型で、全体に緑色をしていて、黒い^{もよう}模様があり、羽根は透明です。「ミンミン」と鳴く声がおなじみで、鳴き声により^{せいそく}生息の確認ができます。



アマガエル

体つきの優しい、小さいカエルです。夕立の来る前大きな声で鳴いたり、田植え前後の夜の^{ほうこく}水田で鳴きたてます。環境により体色^{しき}が変化し、青色、緑色、黒色、灰色、雲^{もよう}模様、まだら^{もよう}模様があります。体の色の違いはあるものの、指の先に円形のきゅうばんがあり、鼻の穴から目の上を通りこまくまで黒い筋があります。



ツバメの巣

人家に巣をつくる鳥として古くから親しまれています。赤いのだと、尾羽の^{おぼね}先端が長く伸びた^{りゅうたん}燕尾がとくちょうです。3月下旬にやってきて人家や牛舎などの建物に巣をつくって子育てをします。古い巣を^{しゅうり}修理して使うことも多いです。



コウモリ

コウモリは、夜行性の^{ほにゅうるい}哺乳類^{うす}で、薄い^{まくら}膜状の翼で空を飛びます。目は良くないですが、超音波を^{うず}発しながら鳥のように飛び回ります。昼間は、爪^{つめ}で、木や岩などにぶら下がっています。ツバメに色や姿が似ていますが、羽ばたきがはげしく、また、真っ暗になっても飛んでいて、キーキーと高い声を出します。



セイヨウタンポポ

英語の名は、ダンディライオン（ライオンの歯）といい、ぎざぎざに切れた葉の形をライオンの^{きば}牙にたとえた名です。セイヨウタンポポが日本国内で最初に見つかったのは、1904年（北海道）と言われているため、110年ほど前になります。葉の形や花の咲き方などではニホンタンポポと区別がむずかしいため、^{そうぼう}総苞というもののつき方で区別してください。

3. 調査に参加してくれた方々

市内16小学校4学年児童に委嘱した「わが家のエコ課長」をはじめ市民から募集するボランティア調査員の方々にご協力いただきました。

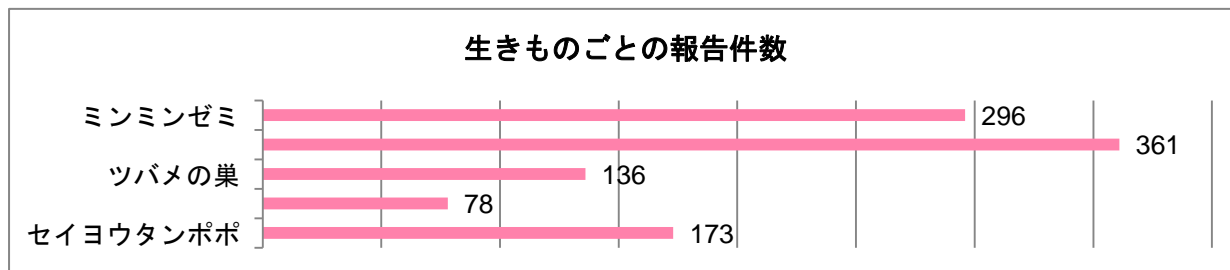
○ご協力いただいた専門の先生方

専 門	氏 名 (敬称略)
昆虫類	井 出 勝 久
魚類、両生類、はちゅう類	井 出 明 雄
鳥類	木 内 清
哺乳類	篠 澤 明 剛
植物類	中 山 冽

4. 調査結果

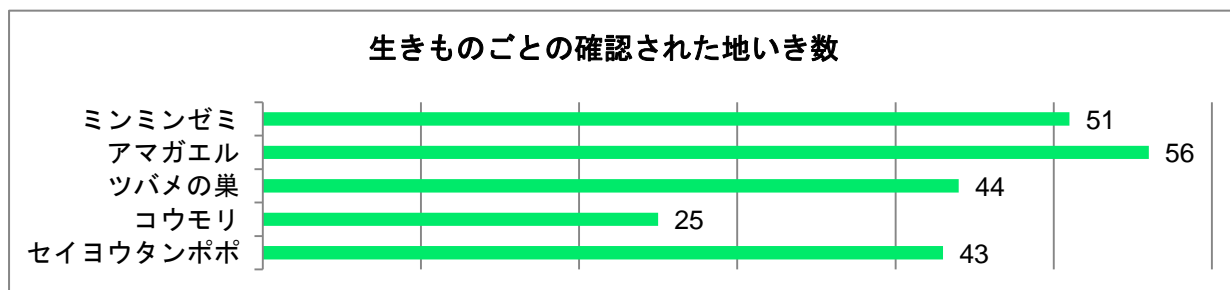
○報告件数

寄せられたハガキは327枚（うちインターネットでの報告5件）で、生きものごとの報告件数は、1,044件でした。身近な生きもの調査ということで、調査員の皆さんには身のまわりの区域を分かる範囲で調べてもらいました。そのため調査できなかった区域もあると考えられます。報告がなかったということは、誰も調べなかったか、調べても調査対象の生きものが見つからなかったということです。必ずしも「いない」ことを意味するものではありません。この調査では「量」については分かりません。



○生き物が確認された地域

今回の調査では、行政区ごとに報告をしてもらいました。



かんきょう じょうたい

○環境の状態をさぐります

次のページからは各調査種について詳しい結果を載せています。生息分布図をみてそれぞれの動植物の特性に注目してみてください。そして自分で気が付いたことや専門の先生方の考察をもとに佐久市の自然環境について考えてみましょう。

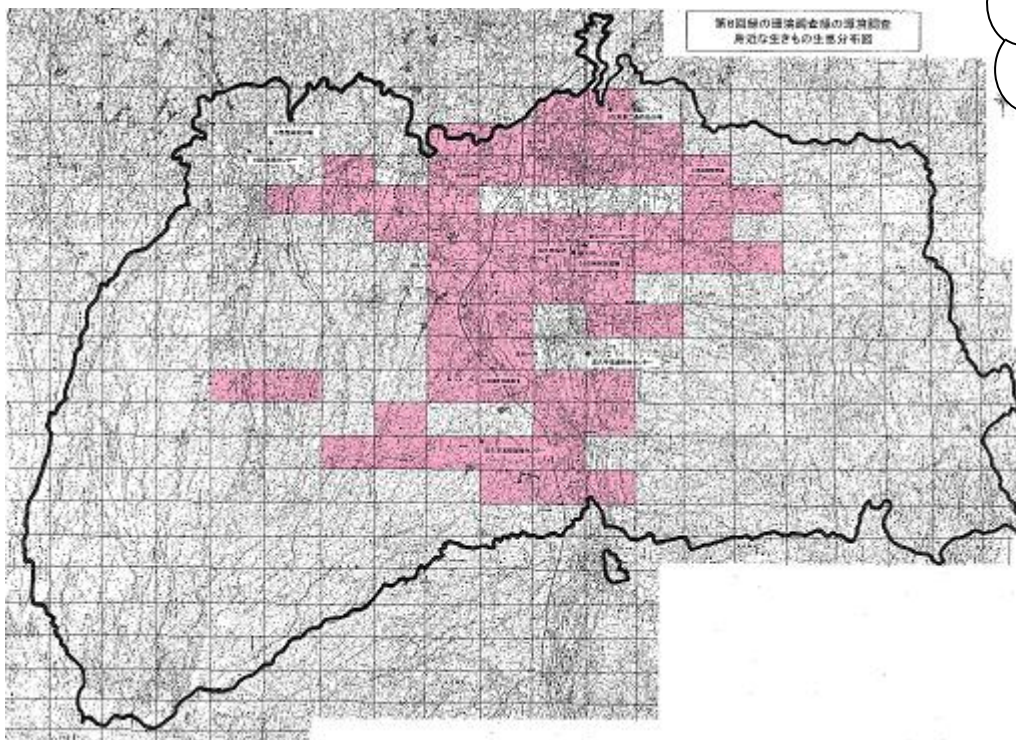
ミンミンゼミ

○調査結果について

学校の長い夏休みが始まり、どうして過ごそうかと、楽しいことをあれこれと考えている頃から、表ではミンミンゼミが「夏が来たぞ」とにぎやかに鳴き始めます。

佐久市にはどこにでも生息している一般的な種類で、寄せられた結果からも知ることができます。ただ年により発生の数や時期に変化があり、昨年は盛夏にとっても少ない鳴き声しか聞こえませんでした。今年例年並みにいたるところでたくさんの声が聞こえたようでした。ただ年々少なくなってきているようで、温暖化や、食べ物となる植物たちの変化など、生息できる自然環境の変化が影響しているのかもしれない。

浅間	住吉町	1	野沢	泉野	2	臼田	三条	2
	相生町	1		田町	3		湯原	9
	岩村田本町	1		桜井	34		湯原新田	2
	長土呂	2		前山	1		臼田中町	1
	荒宿	1		前山南	1		上小田切西	1
	常田	63		弥生が丘	1		上小田切	4
	南岩尾	12		小宮山	1		中小田切	9
	下平尾	3		石神	2		下小田切	1
	今井	1		中央区北町第一	2		北川	2
	三河田	2		中央区北町第二	2		田口中町	1
東	安原	14	中込	中央区南町	5	望月	上荒	1
	新子田	7		杉の木	2		美里	3
	伊勢林	2		松井	1		入片倉	4
	駒場	6	駒寄	2	昭明町		14	
	志賀中宿	3	浅科	御馬寄	3		計296	
	志賀下宿	45		八幡	1			
	香坂	1		中原	3			
	五十貫	1		塩名田	7			
	西地	3						



今年もたくさん「ミンミン」という声が聞こえたよね。



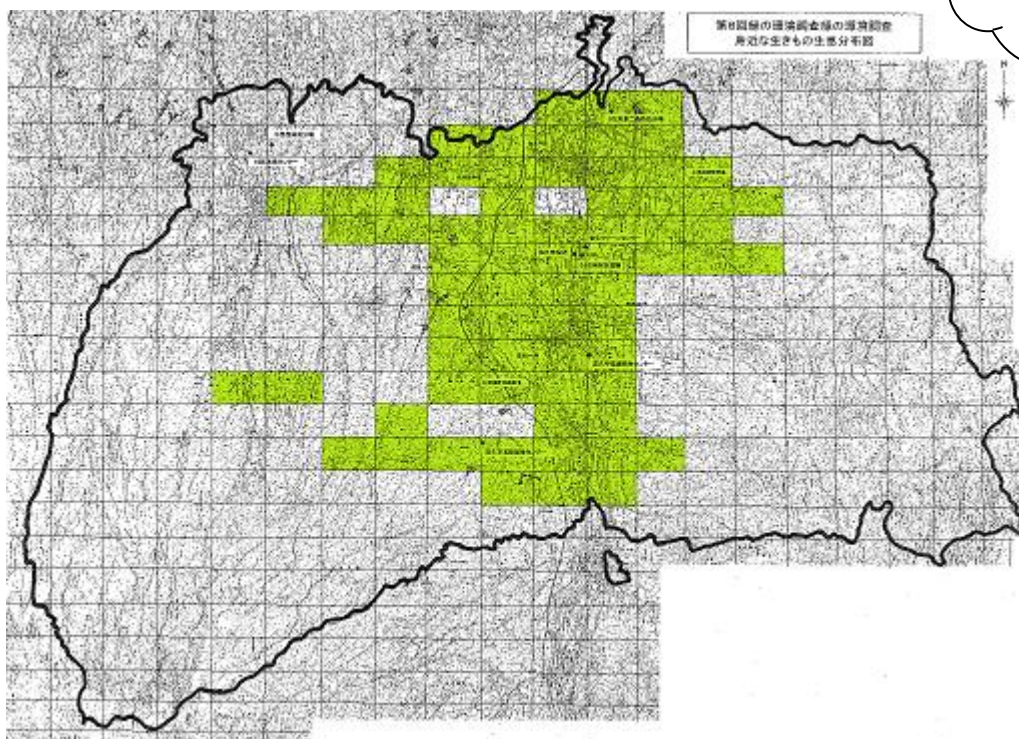
アマガエル

○調査結果について

田んぼ、畑のみならず、アスファルトで固められた市街地、佐久平駅周辺など生息できないと思われる場所からも報告があり、アマガエルの生息域の広さと佐久市の自然の豊かさが読みとれます。

報告はありませんでしたが、生息できる場所は、観察の目がとどかなかったものと思われまふ。普段は何気なく見ている庭先、生活域ですが、少し気を付けてみるとアマガエルをはじめ多くの自然を発見したよろこびを味わった方が多くいます。田んぼの中干しにより多くのオタマジャクシが死にますが、生息し続けています。

浅間	住吉町	2	野沢	跡部	4	臼田	三条	2			
	相生町	2		高柳	2		湯原	14			
	花園町	1		泉野	1		湯原新田	1			
	長土呂	1		桜井	10		上小田切西	1			
	荒宿	2		前山	1		上小田切	3			
	常田	32		前山南	1		中小田切	13			
	北岩尾	1		小宮山	1		北川	4			
	南岩尾	77		三塚	32		滝	3			
	下平尾	2		泉	3		三分	1			
	横根	1		洞源	1		下越	1			
	横和	1		石神	4		田口中町	2			
	三河田	2		中込原	1		美里	2			
	東	安原		11	中込		中込新町	1	望月	入片倉	1
		新子田		42			中央区北町第一	1		昭明町	4
伊勢林		2	中央区北町第二	2		計361					
駒場		2	中央区南町	4							
志賀中宿		2	杉の木	2							
志賀下宿		43	駒寄	1							
浅科		香坂	1	御馬寄	3	今回調べた5種類の中で一番報告が多かったよ。					
		五十貫	1	八幡	1						
		西地	3	塩名田	2						



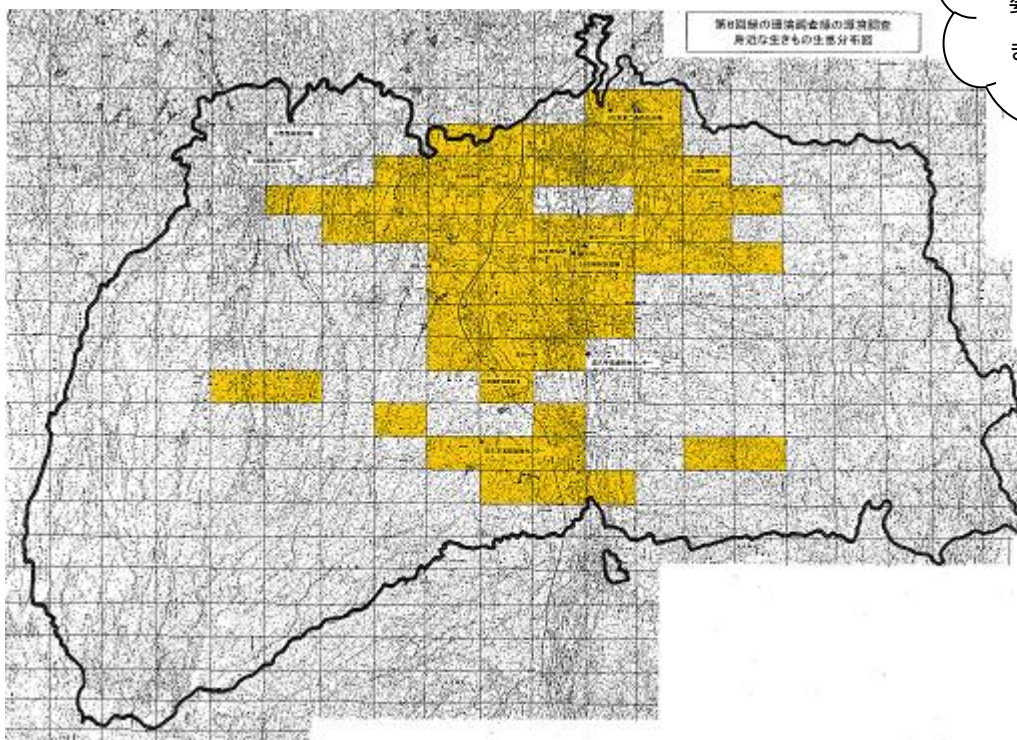
ツバメの巣

○調査結果について

繁殖の最盛期を過ぎた時期でしたが、ヒナを育てていたという報告をたくさんいただきました。その多くは、今年2度目の子育てだったと思われます。自宅に巣を作ったツバメを大切に见守ってくださるコメントもたくさんいただきました。これからも温かく見守っていただきたいと思います。カラスやヘビによる被害の報告もありました。人家に巣を作ることによってそういう被害を減らしているといわれているツバメですが、完ぺきではないようです。

工場の鉄骨やコンクリートの建物に巣をかけた事例もよせられました。住宅の構造が変わってきて巣をかけるにくくなり、巣場所が不足している様子が見えられます。湯原や小田切地区、志賀地区からの報告数が多いように見受けられますが、昔ながらの家並みが残されているのでしょうか。繁殖の最盛期に、統計的に調べてみたいものです。

浅間	住吉町	1	野沢	田町	1	臼田	三条	2
	相生町	1		桜井	4		湯原	9
	佐久平駅北	1		前山	1		湯原新田	2
	荒宿	7		三塚	3		上小田切西	1
	塚原	1		洞源	1		上小田切	5
	常田	1		石神	2		中小田切	10
	南岩尾	1		中込原	2		北川	2
	下平尾	2		中込新町	2		滝	1
	横根	1		中央区北町第一	1		丸山	1
	三河田	1		中央区北町第二	2		伊勢	1
東	安原	3	中込	中央区南町	2	計136		
	新子田	5		杉の木	2			
	志賀中宿	2		御馬寄	3			
	志賀下宿	38		中原	1			
	香坂	1		塩名田	1			
	五十貫	1		入片倉	4			
	西地	2		望月	1			



親ツバメがヒナにエサをあげている姿をみるのができたかな。



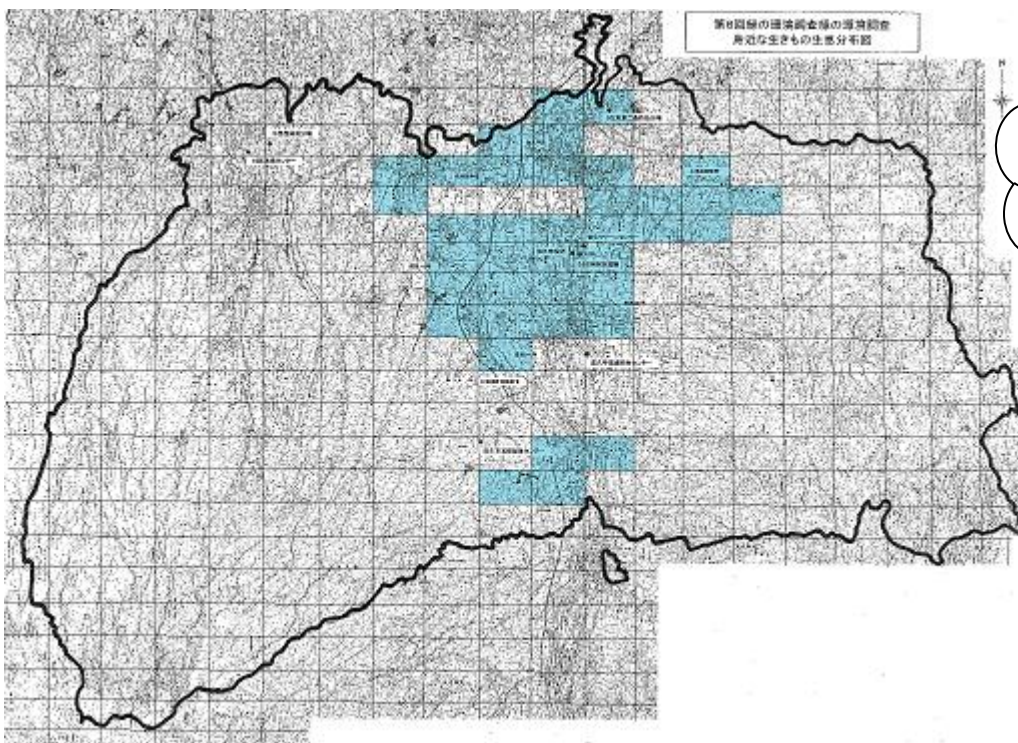
コウモリ

○調査結果について

皆さまからコウモリに関する多くの情報^{じょうほう}をいただきました。約 25 の地域^{ちいき}からの目撃情報^{もくげきじょうほう}がありました。

また、感想等は 30 件近くに及び、皆さまの関心の高さを感じました。報告は、市の中心部からのものが多くありました。おそらくは家屋^{かおく}をすみかとするアブラコウモリを見た方が多かったと思います。アブラコウモリは、日本で唯一^{じゅうがせい}の住家性コウモリとして有名です。しかし、佐久平駅周辺^{もくげき}での目撃例が少なかったのは、コウモリにとって住みにくい環境^{かんきょう}なのかもしれません。これからもこのような調査を続け^{くわ}れば詳しい状況^{じょうきょう}が分かると思われます。

浅間	相生町	1	野沢	跡部	1	中込	石神	1
	花園町	1		高柳	1		中央区北町第二	2
	長土呂	1		桜井	8		中央区北町第一	1
	三河田	1		三塚	32		中央区南町	3
東	安原	1	臼田	洞源	3		橋場南	2
	新子田	3		上小田切	1		三石	3
	伊勢林	3		下小田切	1		杉の木	3
	駒場	1	浅科	御馬寄	1		計78	
	志賀下宿	2		塩名田	1			



コウモリはみる
ことができうれし
かったという感想
が多かったよ。



セイヨウタンポポ

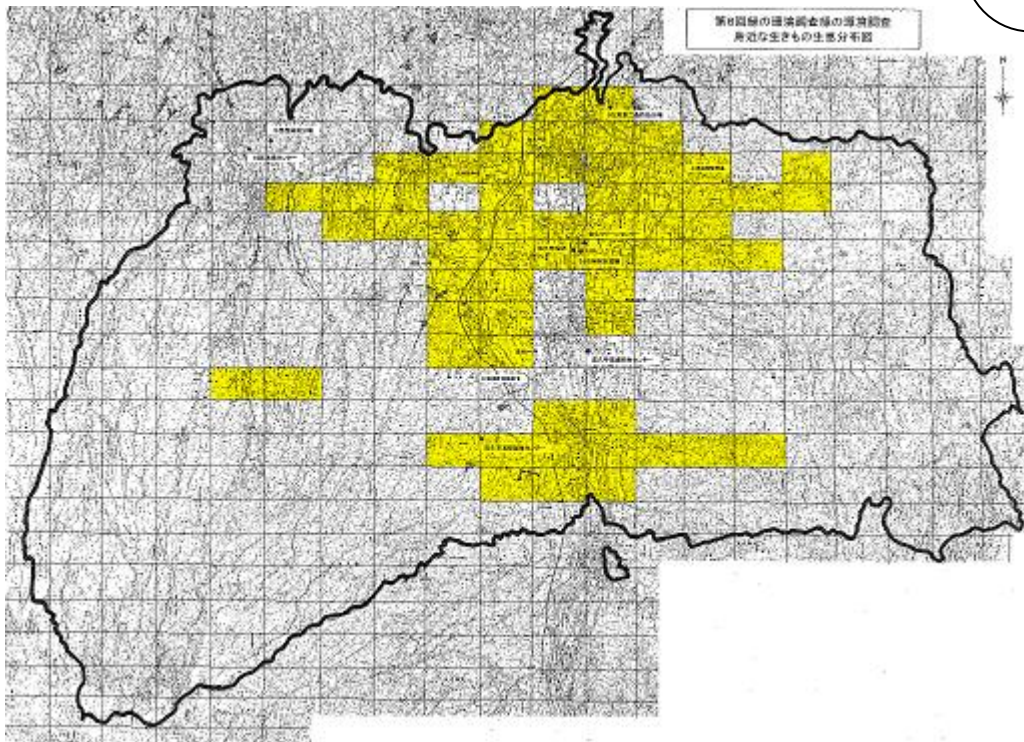
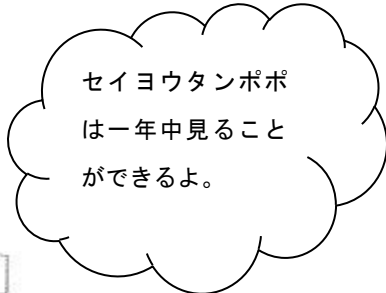
○調査結果について

日本タンポポは春に1回花が咲き、種を作るとあとは、お休みで来年の春にならないと花が咲きませんが、セイヨウタンポポは春にも花が咲き、夏にも秋にも時には冬でも花を咲かせます。そして種も作ります。

ですから、花の咲いているもの、綿毛^{わたげ}となっているもの、すでに飛んでしまったものなど3段階^{だんかい}を見た人は本当によく観察してくれました。

これからの寒い冬もセイヨウタンポポは花を咲かせていると思いますので注意してみてください。

浅間	住吉町	1	野沢	跡部	6	臼田	三条	2
	相生町	3		桜井	2		湯原	9
	長土呂	1		下平	1		湯原新田	2
	荒宿	2		前山南	1		上小田切	1
	北岩尾	1		三塚	2		中小田切	5
	南岩尾	33		石神	4		三分	1
	下平尾	4		中央区北町第一	1		下越	1
	横和	1		中央区北町第二	2		丸山	1
	三河田	1		中央区南町	4			
東	安原	6	中込	三石	1			
	新子田	8		杉の木	4			
	伊勢林	3		御馬寄	2			
	駒場	3		八幡	1			
	志賀中宿	3		中原	1			
	志賀下宿	36		塩名田	3			
	香坂	1		入片倉	1			
	東地	1		望月	5			
	西地	2						



5. その他生きものに関する情報

調査対象種以外の生きものについてもたくさんの情報をいただきました。

昆虫類の報告種

アサギマダラ アブラゼミ アメリカシロヒトリ ウマオイ エンマコオロギ
オニヤンマ カミキリムシ カンタン キアゲハ クスサン ゲンゴロウ
ゲンジボタル コガネムシ スズムシ セスジツユムシ ツクツクボウシ
ツツレサセコオロギ トノサマバッタ ヒグラシ マイマイガ ミツカドコオロギ

井出 勝久 先生からのコメント

- オニヤンマは真夏には野山に多く見られ、トンボの王様としてとても素早く自分のなわばりを巡^{じゆん}かいています。取り逃がしても少し待っているとまた同じ場所に戻ってくるので比較的簡単に捕まえることができます。
- カミキリムシは現在900種類以上が確認されていますが、これも確定^{かくてい}されているわけではありません。まだ生きている木を枯^からしてしまう種や枯れたいろいろな植物たちに産卵し、幼虫が穴だらけにして早く腐^{くさ}らせてしまう役割をもっていますが、自然が豊かであり続けるのには栄養満点の土が作り続けられることが必要であり、土の材料となる植物たちを枯^からしたり、早く腐^{くさ}らせる自然維持^{いじ}の仕事をしてきています。
- ヒグラシは夏の暑さも収^{おさ}まってくる夕方になると、雑木林^{ぞうきばやし}の少しうす暗くなった場所から「カナカナカナ」と寂^{さみ}しげな、少し悲しげな声が聞こえて来ます。セミは時間を教えてくれる昆虫^{こんちゆう}としても知られていますが、今年は特に少なく、いつもの年と比べても声を聞く機会がありませんでした。
- コガネムシはとても種類が多く日本では約300種類くらいが確認されています。数はまだ不確定で、約、くらいなどあいまいな表現しかできませんが、もしかして新種も発見できるかも知れず、実は全ての種類に同じことが言えます。種類により何を食べているのかを知っていればいつでも身近に会う機会も多くあり、特に夜になると明かりを求めて色々な種類がやってきます。大きさや色つやなども変化に富み、よく観察^{かんさつ}すると自然の不思議^{いったん}の一端にも気づきます。

魚類・両生類・はちゅう類の報告種

アオダイショウ アメリカザリガニ カナヘビ ツチガエル ヤマカガシ
トウキョウダルマガエル

井出 明雄 先生からのコメント

- 2013年ともかく異常^{いじょう}気象で生物も毎年見られない様子をしめしました。
- ヘビが猛暑^{もうしょ}期間中姿を見せなかった。
- アメリカザリガニは人の都合によって分布するようになったようです。
- ツチガエルはU字溝^{じこう}、護岸^{ごがん}工事で生息ができなくなり貴重^{きちょう}です。

鳥類の報告種

アオバヅク イワツバメ ウズラシギ オオバン オナガ カッコウ シロサギ
ツグミ ハクセキレイ バン ヒクイナ ホトトギス ムクドリ メジロ モズ

木内 清 先生からのコメント

- アオバヅクは神社の境内などの大きな樹木の洞窟状の空間に巣を作る小型のフクロウで、巣場所やえさとなる昆虫の減少にともなって数が減ってきています。佐久市内でも生息場所は限られています。
- ヒクイナは環境省のレッドリストで絶滅危惧種に指定されている希少な鳥です。唱歌「夏は来ぬ」の中で、五月やみ 螢 飛び交い水鶏（クイナ）鳴き・・・と歌われているクイナは、実はヒクイナのことです。数十年前までは佐久の水田地帯で普通に見られましたが近年著しく減少し、独特の鳴き声もほとんど聞かれなくなってしまいました。貴重な観察報告です。
- ハクセキレイはかつては佐久地方では冬鳥でしたが、20年ほど前から一年中みられるようになり、普通に繁殖もするようになりました。日本在来種のセグロセキレイとの競合が心配されています。
- オオバンは十数年前まではまれにしか見られませんでした。近年は数が増え、野の鳥の丘公園（中込杉の木貯水池）では冬の間よく見られるようになりました。夏も残っていて子育てをするものも現れました。これからも増えていくのか経過を見守りたい鳥のひとつです。

ほにゅう 哺乳類の報告種

イタチ キツネ タヌキ ハクビシン ミンク

篠澤 明剛 先生からのコメント

- 今回はハクビシンやミンクについての情報がありました。どちらの生物も外来種と言われ、農業や漁業などに悪影響を及ぼすこともありますので、注意していく必要があると思われます。

植物類の報告種

オオハンゴンソウ オオブタクサ カクラナデシコ シナノタンポポ
シロツメクサ シロバナタンポポ ブタクサ

中山 冽先生からのコメント

- オオハンゴンソウ、オオブタクサ、ブタクサ、シロツメクサなどは外来植物といって外国から日本に住みついた植物たちです。
- シナノタンポポは信濃（長野）を中心に生育している種類ですが、シロバナタンポポはふるさとは関西方向ですので旅で佐久へ来ているということでしょう。

6. 考察専門先生のまとめ

(昆虫類) 井出 勝久 先生



色々な種類の生きものたちが生きてゆくためには、豊かな自然の中で、色々な植物たちの種類がたくさん生息していることが条件となっています。昆虫も含めて、自然とそこに生活する色々な生きものたちに興味を持つことは、実は自分自身の心にもゆとりを持つことになり、自然の中で生きている生きものたちとの意外性との出会いは、子どもたちの楽しい思い出づくりになるはずです。



(魚類・両生類・はちゆう類) 井出 明雄 先生

佐久市は非常によい自然環境にあります。アマガエルを通してみるとエサになる虫が多いです。虫が多いことは土、草木、作物に毒性がないこと、オタマジャクシなど水生昆虫の生息できる清き水があることによります。U字溝、道路など生物にとっては悲しい環境がありますが、まだまだ佐久平を囲む山々は広く、市街地、住宅地にも自然があります。

(鳥類) 木内 清 先生

今回の調査に小学生もおおぜい参加してくれました。その皆さんのおじいさんたちが小学生だった頃に普通にみられた生きものたちの多くが、いつの間にか姿を消してしまっています。虫やカエル、鳥たちが棲みにくい場所は人間にとっても暮らしにくい場所です。すべての生きものが暮らしやすい佐久市を目指して、これからも身近な自然に関心を持ち続けてほしいと思います。

(哺乳類) 篠澤 明剛 先生

コウモリをを観察した方がおりましたが、すばらしいと思います。なれてくると家の中にもその声に気が付くようになるでしょう。

また、コウモリの巣に関する書き込みがありました。巣はコウモリの種類によって違います。洞窟に暮らす種類、家屋の屋根裏などにすむ種類など様々です。

コウモリが増えたというものと、減ったというものがありました。今後の推移を見守っていきたいと思います。猫とコウモリの関係について2件の報告がありましたが、こちら調査が必要かもしれません。

(植物類) 中山 洌 先生

今回の調査は7月～9月という限られた期間の観察記録でしたが、それぞれの種類についていろいろなことを学び、興味を持たれたことと思います。

今後はこれらのことを基としてそれぞれの生きもの一年間の様子を見ていきましょう。

セイヨウタンポポは、春から冬まで花を咲かせるというのが本当かどうかいろいろな場所でどのくらい咲いていたか調べてみると、日本タンポポとセイヨウタンポポ両方の花が一緒に咲く時が分かるでしょう。



ハガキ等で寄せられたメッセージ



ミンミンゼミ

- ・家のベランダにミンミンゼミがとまっていた。つかまえようとして近づいたらにげてしまいました。ちょっとくやしかったです。
- ・お母さんが会社から家にきたくしたら、げんかんのドアにセミがとまっていたのでとてもびっくりしました。
- ・切原小学校の木にミンミンゼミがとまっていた。1匹だけだったのにとても大きい声でとてもびっくりしました。
- ・ミンミンゼミのなき声をきいて何十匹いたかなと思いました。
- ・ミンミンゼミは木などでないですんでいるのかな？とんでいるのを見ました。シューッと速く飛んでいるのを見てびっくりしました。
- ・ふだん気にしないけど、ちょっと気にするだけでセミの音がたくさん聞こえた。
- ・ミンミンゼミは名前の通りミンミンなっていました。
- ・セミの「ミーンミーン」となっているのを聞くと夏だなあと思ってウキウキしてくる。
- ・ミンミンゼミが鳴いているところを見れてうれしかった。
- ・公園でテニスをやっていたらミンミンゼミが3匹もいた。



アマガエル

- ・アマガエルが鳴く声を聞いて大きくてびっくりしました。
- ・田んぼに水が入ったところからたくさんいたけど「ゲコゲコ」とすごくないでたくさんいた。
- ・カエルは草に足をふみ入れただけで、何匹も飛びはねて出て行っていました。
- ・雨があがったばかりの草むらでアマガエルがぴょんぴょん元気に飛び回っていた。
- ・アマガエルをいっぱい見れてよかった。
- ・アマガエルがいっぱいいた。いい生き物さがしができた。
- ・雨の時アマガエルがたくさんいました。晴れの時ほどのくらいいるかがたのしみです。
- ・さわるとぬるぬるしていて、草から落ちた。
- ・アマガエルがぴょんぴょんとんでておもしろかったです。
- ・雨が降っているときに外に出たらアマガエルがたくさんいたからびっくりした。
- ・朝も夕も庭生で見かけます。足元にとんでくるのでびっくりするけどかわいいですね。アマガエルは草がいっぱい生えているところにいました。
- ・庭の草花畑の野菜（キャベツ等）に多く見られた。
- ・カエルの色は黄緑色と緑色があった。カエルはちっちゃかった。
- ・田に水が入ると鳴き出した。今も田・畑・庭で見ます。



ツバメの巣

- ・つばめが一生けんめい作っていてすごかった。
- ・ツバメの小さい赤ちゃんがいました。3羽いました。お母さんツバメがえさをもって帰ってきて赤ちゃんツバメにあげていました
- ・ツバメの巣は人家に巣をつくります。古い巣をしゅうりして使うこともあると聞いてびっくりしました。
- ・ツバメが子育てをしているときにみえた顔がとってもかわいかったです。
- ・げんかんの近くにある電気に子どもみたいなツバメがずっととまっていて人が外に出ると頭をかしげていてふだん飛んでいるすがたよりも近くで見の方がとてもとてもかわいいです。
- ・ツバメが元気に飛び立っていきました。よかったあ、元気でね。
- ・ツバメが薬局の外灯の上の巣で、ひなを育てていました。ひな5羽。
- ・工場軒下の鉄骨の上にツバメの巣がありました。巣づくりの場所がなく大変です。
- ・今年は巣づくりから羽が黒くなりエサを運ぶ様子、巣立つ時の様子よくみえました。
- ・毎年軒下に巣を作ります。今年も春先から巣作り子育てをし、いつの間にか旅立ったようです。
- ・お店の人に聞いたら、2回くらい巣を作りに来た。
- ・ツバメがこどものツバメにエサをはこんでいてとてもすごかったです。
- ・一軒の家では巣ができるとカラスがこわし、卵を落としたりしてだめだった。もう一軒はいつも作る北側にやはりカラスが来るので南側に台を付けてやるとそこへ巣をつくり卵をかえし親子で（子供は3羽）帰って行ったと聞きました。

コウモリ

- ・コウモリはよく家の近くを飛んでいることが分かりました。
- ・夜になると面白い声でなっていた。
- ・飛んでいるところは見れなかったけど、鳴き声がとても高い声で、びっくりしました。
- ・コウモリの鳴き声はきいたけど見れなくて残念だった。
- ・コウモリは見ることができなくて残念だった。またいつかコウモリを見たい。
- ・巣がどこにあるかわかりませんが、夕方見かけます。
- ・初めて家の中に入ってきた。
- ・コウモリが夕方たくさん飛んでいます。前よりも数が増えたようです。
- ・夕方散歩のときに見かけていましたが、久しぶりに遅くなりかけたころ小さなコウモリがバタバタと飛んでいました。
- ・コウモリは見つからないと思ったけど見つかってよかったです。
- ・夕方、水田の上空をアブラコウモリがたくさん飛んでいました。
- ・コウモリは数年前までいました。夕方になると飛び交っていましたが、わが家に猫が来たころから姿が見えなくなりました。
- ・コウモリがやっと一匹いた。
- ・コウモリははねをぱたぱたとやっていた。



セイヨウタンポポ

- ・学校の校庭にきれいなセイヨウタンポポがさいていました。まださきとちゅうだったのできれいにそだてばいいなと思いました。
- ・あついののに生きていたのはすごいです。
- ・セイヨウタンポポは夏にないと思ったけどさがしてみたらあってビックリしました。
- ・雨がふっていたからセイヨウタンポポ元気だった。
- ・区別がむずかしかったです。田んぼのまわりにたくさんさいていました。
- ・セイヨウタンポポとにほんたんぽぽ2種類あることをしりました。
- ・広場でセイヨウタンポポをたくさんみた。キレイにさいていた。
- ・ふだん生活している^{はんい}範囲で数多くみられる。
- ・セイヨウタンポポはだいぶ^ふ増えたが春しか咲かない日本タンポポ、白花タンポポも場所は少し動いたが咲いていた。
- ・夏休んでいて、台風にも負けずに咲き出したという感じ。
- ・たおれていた。くきに白いのがついてた。
- ・セイヨウタンポポの^{かふん}花粉には小さな虫がついていた。



その他の生きもの

- ・8月夜虫たち（エンマコオロギ、ツヅレサセコオロギ、ミツカドコオロギ、ウマオイ、カンタン、セスジツユムシ）の大コーラスがにぎやかで、9月に入っても鳴いています。
- ・畑にトノサマバッタがたくさんいました。例年より多いみたいです。
- ・9月にクスサンがたくさん飛んでいます。
- ・水田で、ヒクイナ、バン、オオバンが^{さいじ}採餌。ウズラシギ3羽も^{さいじ}採餌。
- ・夜虫たちのコーラスを聞いていると狸、キツネ、ミンクが出てきました。里で動物を間近に見るなんて、自然動物園みたいです。
- ・春に南天にメジロのつがいが出てきて初めて見たので^{かんげき}感激でした2~3日だけです。ツグミ、ムクドリは夏になるまでやってきます。オナガも時季になると2~3日姿を見せます。うちは大通りに面しているのにほんの少しの種類ですが嬉しいです。
- ・ツバメの巣をスズメとハクセキレイが利用し、^{はんしよく}繁殖していました。両種とも巣を作る場所が少なくなっているようです。
- ・佐久平パーキングの上りにオニヤンマが毎年います。
- ・トノサマガエルとツチガエルがいた。



その他の感想

- ・いっぱい身近な生き物を見つけられてよかった。
 - ・家の近くにたくさん生きものがいて楽しかったです。
 - ・ぼくが知らないところにいろいろな虫などがいてすごいなと思いました。
 - ・動物も植物もがんばって生きているんだと思いました。
 - ・いろんな所に生き物がいてそれぞれのせいのもあってすごかった。
 - ・身近な生き物だからあまり気づかないことがたくさんあっていろいろと発見できてよかった。
- ※ このほか数多くの感想などをいただきました。ありがとうございました。

最後に・・・

みなさんのご協力のもと、佐久市の身近な生きものについて分布状況をまとめることができました。

また、感想からも普段気にしないだけで、少し目を向けると周りにはたくさんの生きものたちが暮らしていること、その生きものたちそれぞれに特徴があることなど今回の調査を通してたくさんの気づきや感動があったということが分かりました。

身近な生きものに目を向けてもらう機会は増えたのではないのでしょうか。

みなさんからお寄せいただいたデータをまとめた調査結果は、今後の環境学習の機会等で活用させていただきます。

身近な生きもの調査にご協力いただいた参加者のみなさんに厚くお礼を申し上げます。ありがとうございました。



身近な生きものの生息分布調査報告書

佐久市役所 環境部 環政策境課

〒385-8501

長野県佐久市中込 3056

電話 (0267) 62-2111 (代表)

FAX (0267) 62-7862

URL <http://www.city.saku.nagano.jp>

